

2014. 7. 11

自衛隊記念日レセプションにおける深田大使スピーチ

ベトナム国防省国防次官チュオン・クアン・カイン上将、外務省外務次官タック・ズー様、及び本日もご参列の皆様。

本日は第60回日本国自衛隊記念日レセプションにご参加下さり、誠にありがとうございます。

さて本年、自衛隊60周年記念日を皆様とともに祝えることは、誠に意義深いものであります。ご存じのように今年3月、我が国へ国賓としてベトナムからサン国家主席をお迎えした際、日越両国の関係は「広範な戦略的パートナーシップ」へと格上げされました。

このパートナーシップにおいて、安全保障・防衛分野での両国の協力は、大きな柱となっています。日越の防衛協力は近年急速に充実・発展しています。ハイレベルから実務者に到る各レベルでの相互訪問は勿論、国連PKO派遣や潜水医学、飛行安全、大規模災害対処といった分野における能力構築支援施策が積極的に進められています。また自衛隊艦艇や航空機のベトナム訪問も頻繁に行われています。

さらに防衛協力以外でも、ベトナム海上警察に対する巡視艇供与の具体的検討が進められるなど、南シナ海における海洋安全保障分

野での協力も進展しています。

日本は第2次世界大戦終結後、約70年近くにわたり、平和国家として、一貫して世界及び地域の平和と安定に貢献してきました。

現在、日本政府は、従来以上に積極的に、世界の平和と安定に寄与すべく、国際協調主義に基づく「積極的平和主義」という政策を掲げています。この「積極的平和主義」という政策は、国際社会における法の支配を強化し、地域ひいては世界の平和を希求するものであり、まさに我が国のこれまでの平和国家としての歩みを体現したものであります。

アジア太平洋地域における安全保障環境が大きく変化しつつある現在ほど、日越両国の「広範な戦略的パートナーシップ」の価値が高まっている時期はありません。今後も我が国は、ベトナムをはじめとした各国との協力を着実に進め、世界及び地域の平和と安定に積極的な役割を果たして行きたいと考えております。

日越両国の一層の関係深化と、アジア太平洋地域の平和と繁栄を祈念して、皆様とともに乾杯したいと思います。（乾杯）

（了）